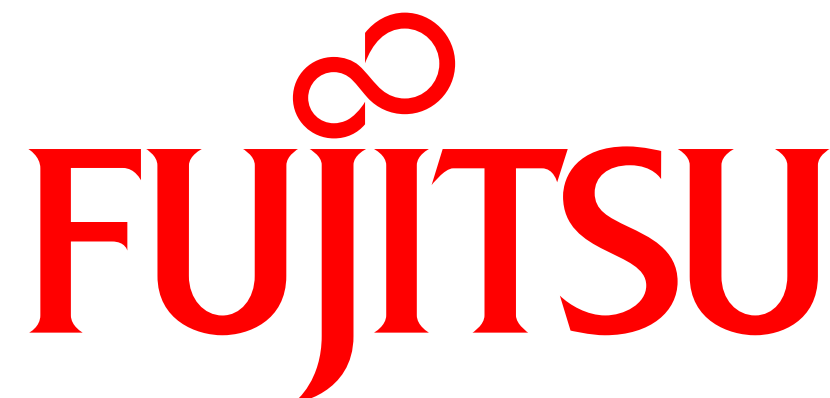


分散アンテナを用いた屋内伝送実験

～超高密度分散アンテナシステムによる大容量化～

超高密度に分散配置した張出アンテナを互いに協調させることで大容量化を図る技術を富士通と協力して取り組んでいます。



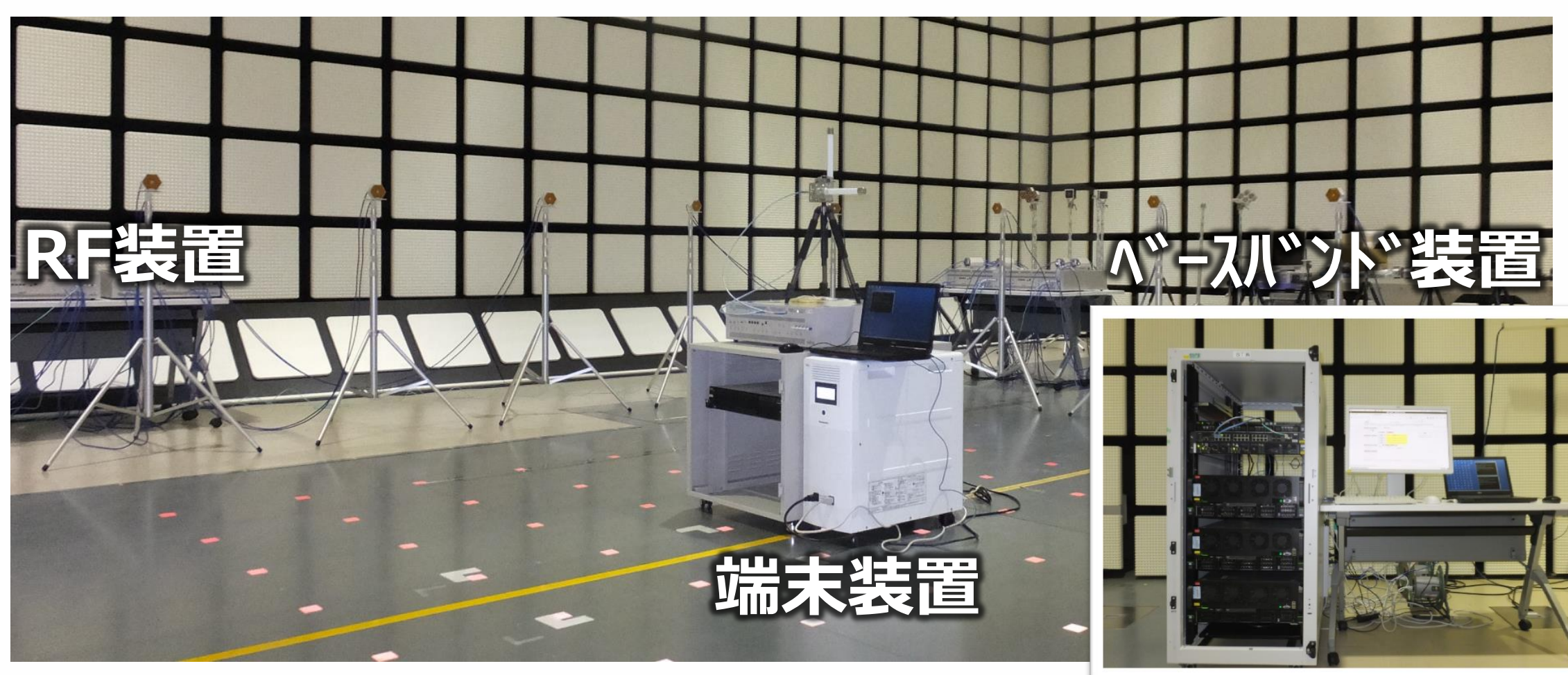
特長

- 超高密度分散アンテナシステムにより、端末基準の仮想的なセルを構成・制御するダイナミック仮想セル制御技術確立し大容量通信を実現します。
- ダイナミック仮想セル制御により、端末の受信電力を増大し、通信品質を向上します。

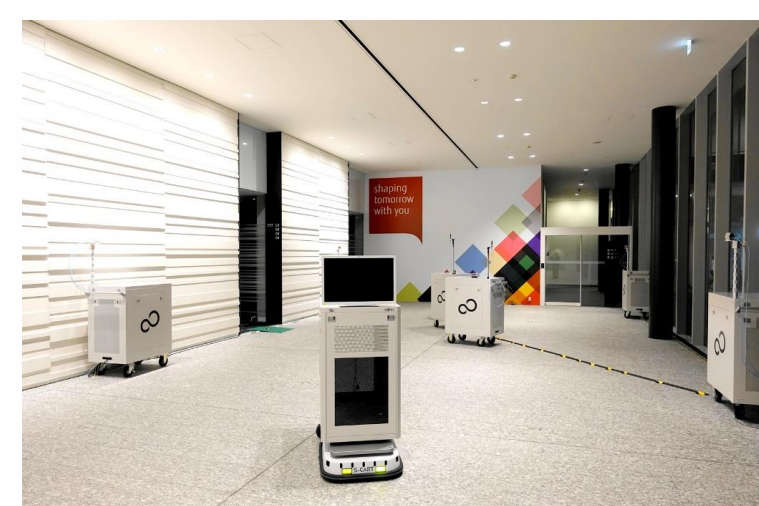
分散アンテナの利用イメージ



実験装置構成



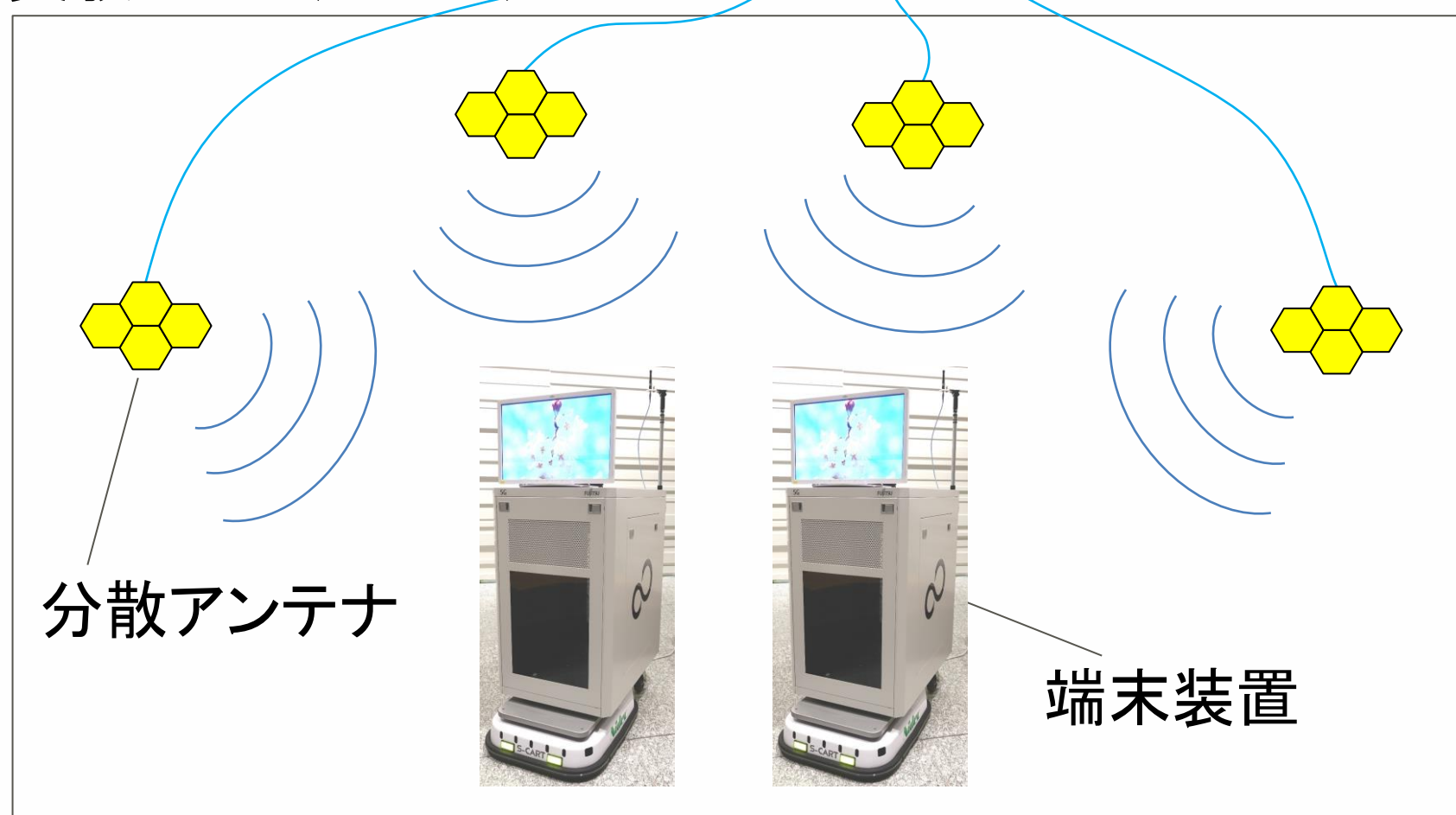
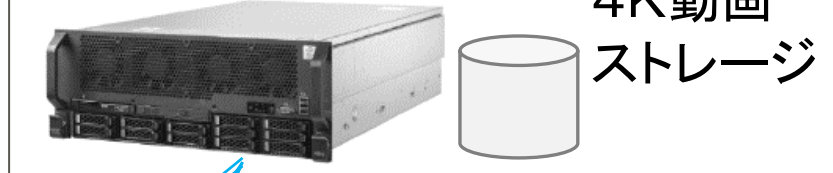
展示内容



実験サイト(ロビー)

集約ベースバンド処理装置

別棟



富士通新川崎ソリューションスクエアのロビー内に設置した複数の分散アンテナを、別棟の集約ベースバンド処理装置が制御し、ロビー内の複数端末に対して、高精細動画をストリーミング配信する様子の中継いたします。

中心周波数：4.65 GHz
帯域幅：40 MHz
張出アンテナ数：最大16
送信アンテナ素子数：最大32
端末数：2

今後の展開

5Gにおける大容量通信実現に向けて、超高密度分散アンテナシステムの課題を解決し、お客様へ快適な通信環境やサービスを提供するためのネットワークの実現をめざします。